

JA新はこだてとみなさんをつなぐコミュニケーション誌

えすぽわーる

新函館

7

July 2017

No.
179



道南を農す

上ノ国 森 啓介さん

特集

お米を通じて、食の大切さを伝える

 新はこだて

- 2 道南を農す
厚沢部地区 森 啓介さん
- 4 特集 お米を通じて、
食の大切さを伝える
～各地域で食育授業を開催～
- 6 リーダーズボイス
北斗地区青年部
齊藤 哲也部長
- 7 とんりの農家さん
七 飯原 信介さん
長万部 木村 雅資さん
- 8 トピックス
組合長トップセールス
青年部と本店部課長との
意見交換会 他
- 11 あぐりレッスン
- 12 JAグループ通信
- 13 インフォメーション
組合員懇談会意見集約
新・執行体制 他
- 19 まるめ郎広場
- 20 料理楽しくステップアップ!
トマトたこ酢

イチオシの一品!



あっさぶの黒豆茶

厚沢部特産の黒豆を香ばしく、さっぱりとしたお茶に仕上げました。

黒豆には健康に役立つ成分が多く含まれていますので、健康志向の方にオススメです。

1本 500ml 140円(税込)
お問い合わせ / Aコープ厚沢部店
TEL:0139-64-3104



ブロッコリーの培土と追肥作業の様子。作物の成長を見ながら、肥料の量を調節して追肥作業をしている。除草に手間を掛けないよう、カルチ作業も定期的に行っている。



「馬鈴薯の防除作業では早すぎても、遅すぎてもダメなので、圃場を良く観察して、虫を発見したらすぐに防除するように注意しています」と防除のタイミングの難しさを語る。



仲良く、圃場にあるブロッコリーの葉っぱを観察する、陽向くん(右)と旭陽くん(左)。葉っぱを見て、虫がいなかチェックしている、しっかり者の二人。

陽向(ひなた)、旭陽(あさひ)、陽羽(ひのは)の3人の子も達が仕事を頑張る力になっています」と啓介さん。また、沙也加さんのお陰で仕事に専念できているとも話す。



上ノ国 中須田
もり けいすけ 啓介さん
森 さやか 沙也加さん

水稻	8.1ha
小麦	8.0ha
豆類	8.5ha
馬鈴薯	3.0ha
ブロッコリー	3.4ha

農業をこよなく愛し
効率性を模索する、あくなき探求心

農業に対し、強い想いを抱く

森啓介さんは高校卒業後、農業系の短大に進学。「小さい頃から農業の手伝いもしており、就農することは自然の流れだった」と話す。

「ここにかく農業が好きだ」と話す啓介さん。雨で仕事が休みの日でも畑は見に行きたくなるくらい、農業に対する想いは強い。

「農業は手を掛けた分、そのまま結果が自分に返ってくるので、やりがいを実感できるのが良い」と農業の魅力語る。さらに、「農業をしていることで地域に貢献できていると感じることもできる」とも話す。

今の時期は作業も重なり、休みが取れない日が続くが、忙しい中でも地元の若手農家の仲間達とお酒を飲んだりして、自分なりにリフレッシュしているとのこと。「仲間達と集まって、最後には仕事の話をしています」と笑いながら話す。

作業の効率化を追求

昨年からの経営移譲し、経営主としても奮闘する毎日。作業効率向上のために色々模索し、今年からブロッコリーの収穫時に使用する自走式の台車の導入を進めている。「今まで、収穫力ゴが一杯になれば軽トラまで運んでいたのが無くなれば、収穫時間も短縮できる。さらに、パートナーの負担の軽減にもなる」と導入効果について語る。

今後については、規模拡大のために自動操舵が可能なGPS機能付きのトラクターの導入を検討中。「GPS機能があれば、嫁さんでもトラクターに乗ることができるので、オペレーター不足を解消できる」と導入に意欲を示す。

所得向上には反収を上げることが一番だが、作業効率も重要だと考えており、さらなる作業効率の向上に向けて、模索する日々は続く。



特集 お米を通じて、食の大切さを伝える

～各地域で食育授業を開催～

JANewはこだて管内では田植え時期を迎え、各地域でお米を通じた様々な食育授業を行い、子ども達に「食の大切さ」や「農業に関する理解」を深めました。その活動の内容について、ご紹介します。

七重小学校の総合学習

食に関する知識や食習慣を学ぶ

5月25日に同校で出前授業を行い、3年生90人が出席しました。食に関する正しい知識や望ましい食習慣を身に付けてもらうため、米穀課職員がスライドを使いながら、収穫までの米作りの流れの他、クイズ形式で稲作の歴史や品種の移り変わり、米に関する雑学知識などを紹介。クイズに正解することに教室内は、児童たちの歓声に包まれていました。



青空の下、田植えに挑戦する児童

市渡小学校食育授業

地元の稲作と生活との関りを学ぶ

市渡小学校5年生16人は5月24日に北斗市の函館育ちライスターミナルを訪れ、稲の生育や米の流通、種類について学習しました。当日は施設見学も行い、北海道水田発祥の地である地元の稲作と自分たちの生活との関りについて学びました。



説明を熱心に聞く児童

茂辺地小学校田植え体験

1年生も入り、昨年よりにぎやかに



懸命に田植えをする児童

茂辺地小学校の児童10人は5月25日に北斗市の農家、宗山幸夫さんの水田で田植え体験学習を行いました。地域の基幹産業である農業を体験することで食料を作る大変さと喜びを肌で感じてもらうおうと毎年行っており、今年で19回目。

田植え前には宗山さんが「昨年の台風の影響で、田植えができないかもしれないなかつたが、関係機関の協力のおかげで今日、行うことができていることも理解しながら、頑張ってください」と挨拶。

児童たちは宗山さんから田植えの方法を教わった後、はだしになって水田に入り、足に伝わる土の感触に声をあげながら、田植えを楽しんでいた。毎年、恒例とあって上級生は慣れた手つきで次々と苗を植え、予定よりも早く全ての苗を植え終えていました。

大妻高校田植え体験

農家の苦労を追体験

函館大妻高等学校の食物健康科1年の40人は5月30日、北斗市の白戸昭司さんの水田で田植え体験を行いました。生徒達に農家の苦労を追体験し、食材を大切に扱う気持ちを育てるのを目的に行っており、今年で11回目。

生徒達は北斗市米穀振興会会長の小山内吉美さんから田植えの方法を教わった後、はだしで水田に入り、時おり笑顔を見せながら、真剣に田植えをしていた。生徒の中には経験したことのある人もおり、その生徒の手際の良さに白戸さんと小山内さんは感心していました。

この後、生徒達は同市の函館育ちライスターミナルへ移動し、お米の食比べやライスターミナル内を見学し、道南のお米の供給基地とお米について学びました。



手際よく田植えをする生徒

凌雲中学校栽培実習

全校生徒でバケツ稲栽培



バケツ稲の田植えをする生徒

凌雲中学校の全校生徒165人は6月2日、バケツ稲栽培の田植えを同校体育館で行いました。

食に関する理解を深め、感謝の心を養うのを目的に実施し、渡島農業改良普及センターと米穀課がアドバイザーとサポート役を担いました。

バケツ稲栽培での田植えの方法を聞いた生徒たちは、個々のバケツに土を詰め、肥料と水を混ぜ合わせたと、学年ごとに「ふっくりんこ」などJAが用意した3種類の苗を慎重に植え込んでいました。約30分後、体育館には苗が植えられたバケツがずらりと並びました。

作業終了後には、米穀課職員がスライドを使い、米に関する出前授業を行いました。3年生の米坂学さんは「田植えは貴重な体験でした。秋まで大事に育てたい」と話していました。

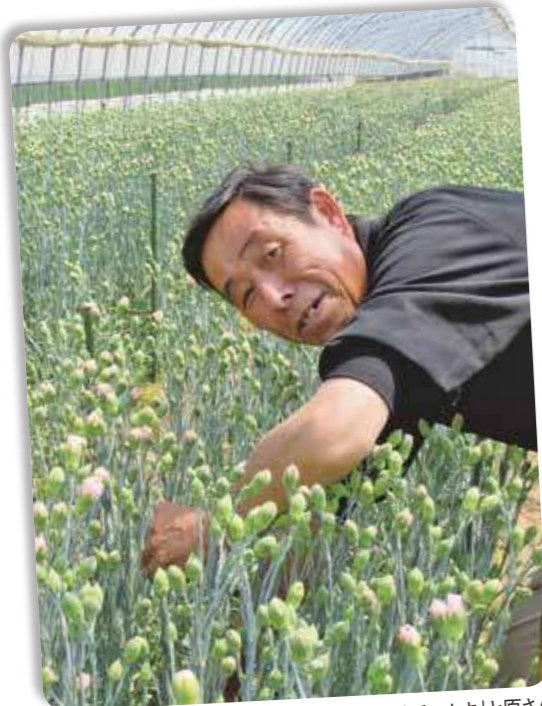
その他、一般消費者を対象とした田植え体験イベントも開催!!

道南ラルズ田植え体験ツアー

株式会社道南ラルズとホクレン函館支所主催の親子田植え体験ツアーが5月27日、木古内町の東出雅史さんの水田で行われ、函館市や近郊の11家族29人が田植え体験を楽しみました。当日は、あいにくの小雨交じりの天気でしたが、参加者は東出さんらの指導を受けながら約1時間「ふっくりんこ」苗の手植えに挑戦していました。



田植え終了後には東出さんの牛舎で「はこだて和牛」を見学しました。



▲「今の時期は、害虫がつかないよう気をつけています」と原さん

七飯町字豊田地区の原信介さんは花卉栽培を行っている。現在ハウス13棟に渡りカーネーションの作付を行っており、6月上旬より出荷を開始し、7月末から8月中旬にかけてピークを迎えるという。

今年の出栄栄えについて「昨年と比べ、天候があまり良くなかったため少し採花が遅れたが、現在は順調

に作業が進んでいる」と話す。今後は、息子の弘至さんへ経営移譲を考えている事から「花卉の栽培技術に関する知識をたくさん伝えていきたい。また、多くの方々から花を購入して頂けるよう日々の作業に努めたい」と笑顔で語った。

原 信介さん(58) カーネーション

七飯

花をより多くの方々へ



～農家の現場へズームイン～
となりの農家さん

長万部町栗岡地区の木村雅資さんは東京都出身で、平成16年に就農し今年で13年目を迎える同町初の新規就農者。現在は総頭数50頭をつなぎ飼ひし、奥さんとともに酪農を営んでいる。作業を行う上で徹底している事については、「乳房炎を発生させない努力や、こまめに牛舎を清掃するなど、常に綺麗な状態を保て



▲「1頭1頭、愛情いっぱい育てています」と笑顔の木村さん

るよう衛生面を徹底している」と話す。

今後の抱負を尋ねると「長く酪農に関わるために現状を維持し、安定した経営が出来るようにこれから牛たちを病気や事故から守っていきけるよう日々努力を怠らずに頑張っていきたい」と語ってくれた。

取材 八雲支店 中村 愛恵

長万部

安全・安定・衛生を徹底して！

木村 雅資さん(48) 酪農

連続インタビュー

リーダーのボイス

Leader's voice

地域のつながりが見直され、ますます重要になる昨今。地域を担う若きリーダーの皆さんに毎月インタビューします。

青年部での活動が
将来の自分の礎となる

JA新はこだて青年部/北斗地区青年部

齊藤 哲也 部長 (36)

部員数: 49人 設立: 平成19年



●特に力を入れている活動を教えてください。

今年には北斗市のふるさと夏祭りの活動と他地区との地区間交流に力を入れる予定です。夏祭りには毎年青年部で出店しており、青年部員約20人で分担して出店しています。地区間交流については初めての試みですが、七飯基幹支店地区青年部と相互に長ねぎ圃場の視察を行いたいと考えています。

●部長に就任して良かったこと、大変だったことは。

他地区の部長や部員たちと交流することで、自身の仕事の幅が広がったと思います。立场上、様々な行事に出席しなければならぬ一方で、農家としての自身の仕事もおろそかにできません。そのため仕事を効率良く進めるにはどうすれば良いか、今まで以上に真剣に考えるようになりました。

●齊藤部長にとって青年部とはどんな存在ですか。

人として成長していく場です。農業は個人経営ではありませんが、一方で周囲の力を借りなければならぬ場面が必ずあります。自分も他人から刺激を受けて、逆に自分が他人に刺激を与えることもあり得ます。そうして切磋琢磨を重ねていくことで、地域農業が形成されていくのだと思います。

●今後、若い部員に求めていきたいことは。

私達役員も機会を作つてあげる努力が必要だと思えますが、まだ青年部に入っていない20代の若い部員には、様々な機会に積極的に出席して多くの人と交流を図ってもらいたいと考えています。いつか必ず自分の営農に役立つ時が来ると思います。



昨年行われた全道JA青年部大会の集合写真。齊藤部長は「今はある意味、青年部活動が趣味になっています」と語る。(前列左から3番目)



昨年の「北斗市ふるさと夏祭り」の一コマ。「昨年は新幹線の開業もあって大盛況でしたが、今年も昨年に負けないくらい盛り上げたいです」と意気込む。

取材 大野支店 営農課 尾崎真恵

えすぽわーる TOPICS

トピックス

管内各地の旬な情報を
お届けします。



大根の品質を確認する島山組合長

3年連続販売高300億円の
達成に向け

**組合長と生産販売部長が
トップセールス**



島山良組合長と新谷正人生産販売部長は6月5日～9日、道外の市場に販売推進を行った。3年連続の農畜産物の販売額300億円の達成に向け、青果物の販売が大きな力となる旨を訴えた。

両名は首都圏や関西、名古屋などの大都市圏の市場12社を訪問。冒頭、各市場には昨年の台風10号による被災後の販売尽力に対して御礼。青果物の本格出荷を目前に控え、今年度の取扱目標額の必達と価格の安定に繋げるべく、主要量販店・実需取引の更なる取り組み強化を要請した。また、6日のセントライ青果株では量販店へ直接納入するパッケージセンターで七飯支店の大根の品質を確認した。



東京シティ青果株での販売要請の様子

販売

有利販売へ生産現場視察 青果連合 「産地販売対策会議」

青果物生産組合連合会は6月13日、北斗市農業振興センターで産地販売対策会議を開いた。道内外14の市場関係者20人を招き、基幹支店の販売担当者が、それぞれの主要品目の生産状況を説明したほか、北斗市の長ねぎやトマト、七飯地区の人参、大根などの圃場を案内。安定生産に向けた意気込みをアピールした。

道外の市場担当者は「各生産者、JA担当者の熱心な姿勢を見ると、販売により力が入ると話した。」



長ねぎ畑で生産者と懇談する市場担当者

販売

競馬ファンに地元の農産物をPR 函館競馬場で農産物を販売

米穀課は5月28日、JRA函館競馬場正門前で旬の野菜などの即売会を行った。当日は時折、雨が降るあいにくの天候だったが、多くの競馬ファンや家族連れが訪れた。

会場には、キャベツやレタスなど約18種類の旬の野菜のほか、ふっくらんこや「風の子もち」を使った大福餅などを販売した。

市内から訪れた女性は「スーパーより安いのにびっくりした。地元野菜は新鮮で日持ちするので、嬉しく」と笑顔で話した。



会場には新鮮な野菜や加工品が並んだ

米穀



意見を述べる青年部員(左)

青年部



厚沢部



初せりで10万円の値がついた「さぶりメロン」(中央)

厚沢部・森



七飯産の花をPRしながら販売する青年部員

花卉



今後に向けて前向きな
意見が飛び交う
**青年部と本店部課長との
意見交換会**

JA新はこだて青年部は6月15日、函館市で同JAの本店部課長との意見交換会を開いた。青年部9人と本店部課長含め、JA職員15人が出席し、青年部事業やJA事業に関する議論を交わした。

青年部からは担い手及び労働力の確保、海外視察研修の実施などさまざまな分野に関する意見や質問が出された。

青年部の木村卓也部長は「開始前は不安だったが、やってみたら非常に良かったので、継続して実施したい」と話した。



伝統食を守る
江差支店女性部の活動を紹介
**HBCOテレビ
「あけり王国北海道NEXT」**

6月24日に放送されたHBCOテレビの「あけり王国北海道NEXT」にて、江差町のお米を使った郷土菓子「追分ごっくん」を後世に伝え、守るという江差支店女性部の活動が紹介された。

番組内では森崎博之さんら出演者が、女性部員から作り方を教わりながら「ごっくん」作りを体験。試食した出演者は「おいしく、おいしいながら食べました。」

終わりに、厚沢部支店職員が同町の農業とJAについてPRをした。



過去最高の10万円の値がつく
「さぶりメロン」初せり

厚沢部町・森町のブランドメロン「さぶりメロン」の初せりが6月9日、函館市青果物地方卸売市場で行われ、最上級の1箱(ご玉入り)に販売10年目で過去最高の10万円の値がついた。

初せりには、森町の中澤忠さんが出荷した5箱が並んだ。

せり落とした函館市の仲卸業者の丸上青果の豊嶋敦果実担当課長は「販売10年の節目に思い切っって臨んだ。年々知名度が向上し手心えを感じている」と話した。



地元の花卉をPR
**はこだて花と緑の
フェスティバル2017**

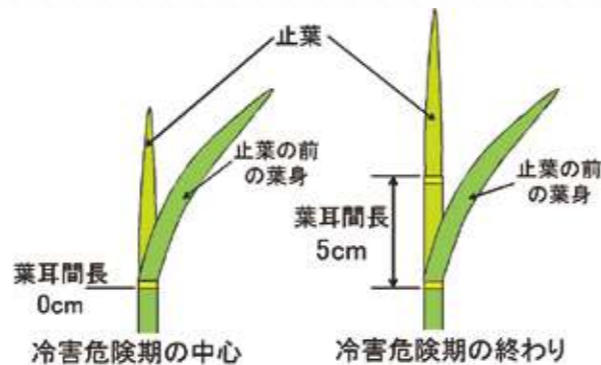
花卉生産出荷組合青年部は6月11日、「はこだて花と緑のフェスティバル2017」に出店し、花の販売を行った。

青年部のアントではカーネーションやアールストロメリアなど7種類の花が店頭に並べられ、綺麗な彩りに引きつけられるようにお客が足を止めて、花を買っていた。

川村和樹部長は「地元の花卉をPRし、地産地消に繋げたい。また、様々な花屋さんも参加しているので、その方たちとも交流したい」と成長したいと話した。

●前歴期間、冷害危険期の水管理

- 前歴期間(幼穂形成期から10日間)
 - 10cmの深水で稲体を保護しましょう。
 - 茎数不足(株あたり20本未満)の場合は、幼穂形成期から5日目頃までは「5cm程度の浅水」で分けつを促し、6日目から深水にしましょう。
- 冷害危険期(前歴期間後7~10日間)
 - 幼穂の伸長に合わせて、1日1cmを目安に徐々に深水にしましょう。
 - 最終的に18~20cmの深水にしましょう。
 - 冷害危険期の終わりは葉耳間長(5cm以上)で判断しましょう。



●病害虫対策(いもち病、紋枯病)

- いもち病
 - 葉色が濃いほ場や、風通しが悪いほ場、過去に発生したほ場の株の下葉を中心に確認し、早期発見に努めましょう。
 - B L A S T A M (<http://www.agri.hro.or.jp/boujoshou/blastam/index.html>) に掲載される感染好適日を確認し、適期防除に努めましょう。
- 紋枯病

出穂前の「モンカット」と出穂期の「バリダシン」の組合せが効果的です。

【大豆の病害虫防除】開花時期を確認し、適期防除に努めましょう。

- マメシンクイガは、開花と莢の長さを確認し防除は2回実施
 - 1回目の散布は、およそ半分の株に長さ2~3cmの莢が着いてから実施する(開花後10日目頃)。
 - 2回目の散布は、1回目の10日後に実施する。
 - 1回目と2回目は系統の異なる残効性の長い薬剤を使用し、合成ピレスロイド系(バイスロイド乳剤など)あるいはジアミド系(プレバソンフロアブルなど)の中から登録のある剤を選択する。
- 紫斑病は、開花後に防除を2回実施
 - 1回目の散布は、開花後10日目に実施する(アミスター20フロアブルなど)。
 - 2回目の散布は、開花後30日目(1回目の20日後、プライア水和剤など)。



開花時期を確認すること!!



マメシンクイガの被害子実



紫斑病の汚染子実



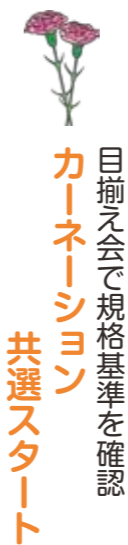
出荷基準を確認した共選前の目ぞろえ会の様子

七飯

道内一の出荷量を誇るカーネーションの共選作業が、昨年より1日遅い6月2日からスタートした。

共選開始前に行った目ぞろえ会で花卉生産出荷組合カーネーション部会の藤田幸成部長は「30戸の生産者が一丸となつて品質向上を図り、安定出荷で産地の名を高めて行く」とあいさつ。全員で規格基準を確認した。

同部会では、11月末までスプレー系90品種、1200万本の出荷を計画している。



参加者全員での記念撮影

知内

知内支店女性部は6月9日、1日視察研修を行った。部員18名が参加し、伊達市の道の駅フォーレスト276大滝、だて歴史の杜で買い物などを楽しんだ。

その他、移動中のバス内では景品などが当たる「じゃんけん大会」などを行い、部員らは大いに盛り上がりがあった。

参加した部員は「スーパーではあまり見かけない珍しい野菜もあり、興味深かった。部員同士で楽しく買い物し、親睦を深めることもできたので良かった」と話していた。



出荷基準などを確認する生産者

若松

高品質のものを出荷し、有利販売へ

広域小かぶ部会は6月9日、若松支店集出荷場で目ぞろえ会を開いた。生産者や丸果札幌青果、東函館青果などの関係者24名が集まった。

出席した市場担当者は「天候の影響で、出始めは少々品不足が見られるがこれからピークを迎え出荷数も増えると思うので、今年度は価格も好調なので、少しでも高く販売するよう努めたい」と話した。

部会員らは、白かぶを見ながら出荷基準の確認や市場の意見などに耳を傾けていた。



牛乳で乾杯する岩村町長(右から2人目)と部会関係者

八雲

酪農の振興について懇談する

町長へ牛乳消費拡大を要請

酪農生産部会八雲支部は5月31日、同町の岩村克昭町長を訪れ、牛乳消費拡大や酪農振興へ協力を要請した。

舟橋秀貴支部長ら3人は、町内で生産した牛乳の大半を出荷している北海道乳業製造の紙パック牛乳を持参。「北海道八雲町発特選牛乳」のロゴが入った地元産牛乳で乾杯し、酪農振興方策などを話題に懇談した。

岩村町長は「道南随一の酪農郷として皆さんが先頭になり、先進的な酪農を目指してほしい」と激励した。





組合員懇談会 開催結果報告(要約版)

- ◆開催期間：平成29年4月3日(月)～4月5日(水)
- ◆開催状況：12地区・8会場で開催
- ◆出席状況：対象者数2,251人、出席者数161
出席率7.2%

※要約版でありますことを予めご了承願います。

J Aグループ通信

J Aグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。
J A北海道大会決議事項の実践やその時々
のトピックスなど、組合員の皆様に定期的
にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEB
サイトをご覧ください。

J A北海道中央会



J Aグループ北海道は、平成
29年度の農業政策提案事項の検
討にあたり、基本農政並びに各作目別対策
本部委員会を開催しました。

基本農政対策本部委員会では、国際貿易
交渉に係る動向を共有するとともに、世界
の諸情勢を見極めながら国際貿易交渉等へ
の対応について機動的な運動展開を図るこ
とを確認しました。また、持続可能な北海
道農業の確立に向けて、担い手・人材力強
化や産地体質強化などの作目共通対策の組
織討議原案を協議、決定しました。

今後、各地区・J A段階での組織討議を
行いながら、現場の意見を踏まえた要請活
動につなげて参ります。

J A北海道信連



J Aバンク北海道は、5月に
開催された「日刊スポーツ豊平
川マラソン」へ協賛しました。当日は、ラ
ンナーのゼッケンに「J Aバンク北海道」
のロゴを出したほか、ちよりスグツズの抽
選会(400名以上の方が参加)や、ちよ
りスと一緒に撮った写真をSNSに投稿し
た方へグッズ等をプレ
ゼントする企画を行
いました。

今後もイベントへの
参加や協賛を通じて、
地域の皆様を応援して
まいります。



ホクレン



社会・地域貢献活動「シーズ
プロジェクト」の一環とし
て、児童養護施設の子ども
たちに北海道日本ハムフア
イターズの試合を通じて元
気と勇気を感じ、地元・北
海道への愛着を持つてもら
おうと、児童養護施設9施
設に札幌ドームでの観戦チ
ケット160枚と限定ユニ
フォームをプレゼントしまし
た。この取組みは、2013年
から継続して実施しており、今
年で5年目になります。



J A共済連北海道



地域貢献活動の一環として
生徒向けの交通事故対策活動
に取組んでいます。スタント
マンが交通事故を再現して危
険性を疑似体験(スケアード・
ストリート技法)させる交通
安全教室を開催し、自転車走
行のルールやマナーを学んでい
たいます。今年度は道内8つの高等学校で開催
を予定し、活動を通して交通事故が減り、
組合員・地域の皆様が安心して暮らせる地
域づくりに貢献していきます。

J A北海道厚生連



組合員ならびに地域住民の皆
様の生命と健康を守るため、本
会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目
的として、広報誌「すまいる」を発行して
おります。年3回
発行しており、様々
な医療・健康情報
を発信しております。
ホームページ
にもバックナン
バーを掲載してお
りますので、是非
ご一読ください。



◆…J Aからの回答

【総務部関係】

1. 懇談会の参加人数が少なく、特
に若い人は1、2人くらいの出席
だがこれで満足しているのか。若
い人は意見を言っても通らないと
思っているのでは？
◆ 青年部と会合等で交流を持って
いて、色々な話を聞いているので、
若い人の考えはある程度把握して
いると考えています。また、今回
どの地区でも組合員の出席率は低
い状況です。
2. 人口減少、少子化とともに組合
員の減少が懸念され、将来、農協
運営にも影響があると思うがどう
考えているのか。
◆ 現在、営農している組合員が生
産を維持できる仕組みを考えなが
ら乗り越えて行きたい。
3. 出資配当の上限は1%ですか。
◆ 農協法では7%が上限です。現
在の低金利の状況において、1%
は高めの配当となっておりますが、
何とか1%は維持したいと考えて
おります。
4. 内部留保した積立金はどのよう
な時に使いますか。
◆ 施設整備積立金は将来の施設整
備の際に、経営基盤強化積立金は
金融・経済の変化や農業環境・政
5. 将来の女性農業者の役員への登
用の際に、次年度からは女性枠と
しての参加があるが、どのように
取り組んでいくのか。
◆ 基本的には女性部からの2名を
考えておりますが、女性部の代表
者に限らず、女性部の方に管内か
ら2名の推薦をいただく事で考え
ています。
6. 女性の農協経営参画について、
ご主人も農協経営に携わり、女性
も農協経営に携わっていくと、自
分の営農に影響が出てくるので、
重ならないように工夫して欲しい。
◆ (要望)
7. 当支店では職員数が減り業務負
担が増えている。販売、営農指導
への配置など、人員体制はどのよ
うに考えているのか？
◆ 昨年度、生産施設課で2名の欠
員が出て補充の対応をしましたが、
補充しきれませんでした。今回の
人事異動で他地域からの配置を含
め、新体制で組合員の負託に応え
てまいります。
8. 新体制で組合員対応が可能と考
えるか。
◆ 職員数が増えれば、組合員サー
ビスは向上しますが人件費等が増
え組合員負担も増えます。配置人
9. 職員と組合員のコミュニケーション
シヨンは重要だが、本店と支店や
支店内の連携や情報共有が最重要
だと思つので強化願いたい。
◆ 支店内に於いては、今後、課内
会議を定例化させ情報共有や連携
強化に努めます。
10. 新人が支店に多く配置されてい
る様な気がする。また、施設課で
は1名減らされて職員が苦勞して
いる様に思つがどうしてか。
◆ 採用計画に基づき今年度は16名採
用する予定でしたが、実際の採用
が12名であり4名不足となってい
ます。また、昨年23名が退職した
事も要因となっております。
11. 職員の欠員が出た場合、部署を
超えた対応はどのようになっている
のか。
◆ 支店の機能が損なわれないよう
に部門横断しながら対応してい
ます。

【農業振興部関係】

1. 農業所得20%増大の根拠は？
◆ 反収向上や販売努力による生産
性向上対策で10%、ホクレンを中
心にした生産資材のコストカット
で10%を基本に、組合員の皆さん

とJAグループが総力を結集して取り組むことで農業所得20%増大を達成できると考えます。

2. 賦課金が営農規模によって不公平感がある。大規模が有利となっている。上限額の設定は必要なのか。

◇ 今回の賦課金変更は女性や青年部員が正組合員に加入しやすくするための見直しです。賦課金は、10年間固定としたことで組合員の理解を求めてきましたので、今後十分に協議しながら、平成32年度改定を視野に入れながら検討します。

3. 正組合員が減少する見込みとなっている中、販売額は変わらないうちで、農協として何をどう取組んでいく事で考えているのか。

◇ 水田や畑作等は機械化により遊休地を増やさない事や、施設野菜等については継続的に取組む事で考えていますが、基本的には残った組合員でカバーし合える体制を作っていくと考えています。

4. 農業人口が減る中で、新規就農者が見込めない状況にあるため、新規就農者の受入体制づくりをしてほしい。

◇ 新規・親元就農支援対策は、第5次地域農業振興計画の優先課題

であり、営農センター長を中心に関係機関と連携しながら体制を構築します。

5. 国の事業について、毎度締め切りまでの期間が1週間と短く組合員の手元に来た時に事業内容について理解するのが難しい。農民連盟でも国の情報を早期に入手できるので活用いただき、早い段階で組合員が事業について知るきっかけにしてほしい。

◇ 関係機関、組織と情報交換に努め取り進め致します。

6. 経営に携わる前の者(担い手・青年部・女性農業者・新規就農者)に対しての営農指導(営農計画の作り方等)について研修をしてほしい。

◇ 職員も勉強会を実施しておりますので、支店に要望として言って頂きたい。

7. 函館牛乳出荷者がホクレンに出荷したいとなった場合可能か。

◇ 基本的にダメだという事にはありませんが、これまでの経過を踏まえて対応を検討します。

8. 第5次計画の褐毛和牛の発情発見装置を導入とあるが、JA独自で支援を行うのか。

◇ 支援については昨年から実施している国の補助事業で行うもので、JA単独で行うものではありません

ん。今後も、国の補助事業で行っていきます。

9. 酪農ヘルパーの人数が4人体制のところ、3月から3名体制になった。使いたいときに利用できないのが現状だ。早急に4人体制としてほしい。

◇ 人材不足は全国的に非常に難しい問題であり、ヘルパー組合からも求人募集をしていますが、いまだに見つかっていない状況です。今後も募集を継続するとともに、内部では後継者によるサブヘルパーの確保も検討しながら、人員確保に努めます。

10. 乳牛延べ払い制度を廃止し、新資金を立ち上げると聞いているが、生産者・JA両者にとつてどちらが得であるか検証したか。

◇ 地区の実態を検証した結果、自家保留牛の使途が多い事から、これまでの生産対策から経営対策に転換致したい。

11. 乳牛延べ払い制度は、年度一杯の説明だが、平成29年12月までのことか。

◇ 事業年度の平成30年1月末までとなります。

12. 乳牛延べ払い制度・新制度両建てで需要を検証し、旧・新制度両建てで選択できる、使い勝手の良いものにしてほしい。

◇ 乳牛延べ払い制度を活用しなくても経営を維持できる事を目指し、新資金制度は経営に特化した使途の幅が広がった対策資金であり、活用方法によっては利用者の負担軽減に繋がります。

13. 新資金制度の7年償還は実態に則さない、牛を9才まで置くことはあり得ない。戸々の農家の実態に則して選択できるように求める。

◇ 償還年数については7年固定ではなく、個々の経営状況に沿った償還年数を選択できます。

14. 昨年の懇談会で十勝市場と安平市場の初妊牛価格の格差が大きいことに対し、市場の開催日を十勝から連続するように工夫する等の改善を要望していたが、その後の経過について伺いたい。

◇ ホクレンと協議を行いました。現状においては十勝市場との兼ね合いからルール上、無理ではありません。

しかしながら、南北北海道市場においても良い牛は高値で取引されており、良い牛を作って頂けますようご理解願います。

15. 農業所得20%増大に向けたコスト削減とあるが、明確に示されていない。どのようにコストを削減するのか。

◇ 生産コストでは系統組織では銘

柄集約により原価を下げようとしていますし、供給側としては生産資材価格を下げるということを取りまとめ購買、利用配当があります。また、生産者側としては土壌診断を行う事で過剰な施肥を抑える事等の削減策が考えられます。

16. 事業分量配当金について、放牧や無農薬栽培のように農薬・配合飼料等を使わず付加価値を付け販売するため努力をしているのに、資材を買った者に対してのみ配当する、このような格差を何故つけるのか。

販売したものに對して還元すればよいと思う。

◇ 商系業者との価格競争の中で、需要流失等の懸念があることから、一律ではなく公平性の部分で配当金を支出しておりますので、ご理解願います。

【生産販売部関係】

1. 平成17〜平成19年度の共選事業の受益者負担の基準は？

◇ 当時、共選料については、「経済・金融情勢の推移を見ながら見直しをする」としてありましたが、収益部門である経済や金融事業の悪化から、統一することは困難な状況にあり、平成17年度以降も旧農協から引き継いだ料金を継続す

ることとなりました。平成18年度以降は新規投資施設の減価償却費は利用する組合員の負担となり、料金の一部値上げを実施しました。平成19年度に「第2次中期経営計画」を策定し、平成20年度の総代会で承認され、共選料のあり方を検討した結果、平成21年度から、施設毎の直接費用全額と対象施設の減価償却費、事業運営に携わる職員人件費の一部を利用する組合員の負担とする内容に統一しました。

2. 昨年の販売実績で、市場販売の他に、量販店等に対する販売額は？

◇ 野菜果実の販売額121億円の内、量販店や実需に対し25億円の実績となりました。今後も価格の安定化を目指し、取組みを強化して参ります。

3. 30年産米からの生産調整の廃止について、どの様に対応するの

か？

◇ 北海道はホクレンを中心に販売を進めており、全国でもトップ産地として位置付けられております。今後も安心して米生産が出来るよう、需給対策を中心に北海道へ要請して参ります。

ん。今後も、国の補助事業で行っていきます。

9. 酪農ヘルパーの人数が4人体制のところ、3月から3名体制になった。使いたいときに利用できないのが現状だ。早急に4人体制としてほしい。

◇ 人材不足は全国的に非常に難しい問題であり、ヘルパー組合からも求人募集をしていますが、いまだに見つかっていない状況です。今後も募集を継続するとともに、内部では後継者によるサブヘルパーの確保も検討しながら、人員確保に努めます。

10. 乳牛延べ払い制度を廃止し、新資金を立ち上げると聞いているが、生産者・JA両者にとつてどちらが得であるか検証したか。

◇ 地区の実態を検証した結果、自家保留牛の使途が多い事から、これまでの生産対策から経営対策に転換致したい。

11. 乳牛延べ払い制度は、年度一杯の説明だが、平成29年12月までのことか。

◇ 事業年度の平成30年1月末までとなります。

12. 乳牛延べ払い制度・新制度両建てで需要を検証し、旧・新制度両建てで選択できる、使い勝手の良いものにしてほしい。

いて、一部の生産者しか知らないことが残念である。若手の米生産者に周知する取組みも必要ではないか。

◇ (要望) 昨年は精算払い・追加払金等で大変助かった。平成29年産も同様の概算払金額でお願いするとともに、最終的には15000円/俵となるよう努力願いたい。

◇ 当農協の概算金額は他のJAに比べ高い水準となっております。今後高く設定できる様、ホクレンを中心に鋭意交渉に努め、組合員の所得確保に取り組みで参ります。

1. 株式会社への変更理由は？

◇ 対外的な信用度と職員の意欲向上です。

2. 株式持分の内容は？

◇ 農協が100%で3000万円です。

3. 社長は代表権がありながら、株式を持っていないのか？

◇ 社長は株式を保有しておりません。当社定款にて認められております。取締役の任期は？

◇ 定款で3年となっております。Aコープ厚沢部店の収支は？

◇ 乳牛延べ払い制度を活用しなくても経営を維持できる事を目指し、新資金制度は経営に特化した使途の幅が広がった対策資金であり、活用方法によっては利用者の負担軽減に繋がります。

13. 新資金制度の7年償還は実態に則さない、牛を9才まで置くことはあり得ない。戸々の農家の実態に則して選択できるように求める。

◇ 償還年数については7年固定ではなく、個々の経営状況に沿った償還年数を選択できます。

14. 昨年の懇談会で十勝市場と安平市場の初妊牛価格の格差が大きいことに対し、市場の開催日を十勝から連続するように工夫する等の改善を要望していたが、その後の経過について伺いたい。

◇ ホクレンと協議を行いました。現状においては十勝市場との兼ね合いからルール上、無理ではありません。

しかしながら、南北北海道市場においても良い牛は高値で取引されており、良い牛を作って頂けますようご理解願います。

15. 農業所得20%増大に向けたコスト削減とあるが、明確に示されていない。どのようにコストを削減するのか。

◇ 生産コストでは系統組織では銘

地区運営委員会にてお知らせして参りたい。

6. きたひやまSSはセルフ化と聞いたが、若松SSは？

◇ 若松SSは当面セルフ化の予定はありません。

7. JAきたひやまのセルフ化により、価格で差がつかない様、願いたい。

◇ (要望) ガソリンの地区価格差は？また、配送軽油や灯油も差があるのか？

◇ ガソリンは地域市況を勘案して設定。配送軽油と灯油は差がありません。

9. 木古内SSで軽微な整備ができるよう人材育成願いたい。

◇ (要望)

ホクレンでは肥料コスト低減・省力化に向けて、平成29肥料年度(平成29年6月)より新製品の取扱いを開始しました。

幅広く使える便利な肥料

Wide Use ワイドユース

銘柄名	保証成分			
	窒素	リン酸	カリ	苦土
ワイドユース450	14	15	10	
ワイドユースS057	10	15	7	3



幅広い作物に使える化成肥料

ワイドユースは、北海道施肥ガイドを参考に、多くの作物で使用できるように設計した化成肥料です。

低コストを実現

製造時期を集中した大量生産と、製造後の一括納品により低コストを実現しました。

セビラク シリーズ

施肥作業がラクになる



せひらくシリーズ銘柄一覧

「セビラクシリーズ」は、窒素成分が高いため、窒素を基準にして一般的な肥料より**施肥量の約3割削減**が図れます。施肥袋数の削減による肥料補給時間の短縮など、**施肥作業の省力化**におすすです。

銘柄名	保証成分			
	窒素	リン酸	加里	苦土
せひらくBB側条3413	34	13		
せひらくBB甜菜S505	15	20	5	2
せひらくBB甜菜N646	16	24	6	5
せひらくBB甜菜S517CR	15	21	7	2
せひらくBB甜菜S605UF	16	20	5	3
せひらくBBいもS225	12	22	5	3
せひらくBBいもS370	13	17	10	2
せひらくBB野菜S580	15	8	10	
せひらくBB野菜S550Zn	15	15	10	2

※袋のデザインはイメージです。



※製品に関するお問い合わせは、お近くの生産資材店舗へお願いいたします。

新執行体制が決定

島山組合長が6月22日付で北海道厚生連副会長に就任したことに伴い、6月22日開催の第6回理事会において、会長理事に島山良一、代表理事組合長に輪島桂、代表理事専務に田中猛一を選任し、6月22日付で就任しましたので、新執行体制についてお知らせ致します。

退任 前会長理事 新任 代表理事専務 新任 代表理事組合長 新任 会長理事



小野寺 仁
(非常勤 厚沢部)



田中 猛一
(常勤 七飯)



輪島 桂
(常勤 知内)



島山 良一
(非常勤 大野)

就任にあたり

新函館農業協同組合 代表理事組合長

輪島 桂

盛夏の候、組合員の皆様にはご健勝でご活躍のことと存じます。さて、この度、前代表理事組合長島山良一氏の北海道厚生連副会長就任に伴い、6月22日開催の第6回理事会において選任され、同日付で就任致しましたので、一言ご挨拶を申し上げます。平成29年度事業も5ヶ月を経過し、もう少しで上期も終了しようとしております。組合員の皆様におかれましては、豊穣の秋を目指し、繁忙期を迎えていることと存じます。皆様もご存知のとおり、農業を取り巻く環境は一層厳しくなっております。特に日欧EPA交渉ではEUから幅広い品目で関税撤廃を迫られており、日本政府へ慎重な対応を求めるため、国への要請活動にも力を注ぎ、新はこだて管内の営農を守っていきたくと考えます。最後に、JA新はこだてが誕生して15年を迎え、今後とも組合員の皆様と一層コミュニケーションの充実を図り、課せられた使命を果たしてまいりたいと思っております。今後とも皆様のご理解とご協力、各関係機関・団体の皆様のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。就任の挨拶といたします。

みんなのまるめ即広場



Q. 数独®ニコリ 二重枠に入った数字の合計は?

ルール

- 空いているマスに、1から9までの数字のどれかを入れます。
- タテ列、ヨコ列、太線で囲まれた3×3のブロックのいずれにも1から9までの数字が1つずつ入ります。

例

Q.

9	3	2	4	8
2	4	6	8	1
6	8	1	5	4
8	1	3	7	2
5	6	7	4	2
1	7	9	4	2
2	3	8	6	4
9	4	1	5	7

A.

7	9	5	3	2	1	6	4	8
3	2	4	7	6	8	1	9	5
6	8	1	5	9	4	3	7	2
8	1	9	6	3	7	5	2	4
4	3	2	1	5	9	8	6	7
5	6	7	4	8	2	9	3	1
1	7	8	9	4	3	2	5	6
2	5	3	8	7	6	4	1	9
9	4	6	2	1	5	7	8	3

	3		7	2	1			4
7	1	2					9	3
	5		8		9	7		1
3		1	2		4	6		5
2	6			7				3
		7	6		3	8		
8		9	3					4
	4	3		8				5
5				1	2	3	8	

クイズの正解者の中から抽選で 3 名様に、以下の 2 種類からお好きな商品を 3 袋お送りします。希望のプレゼントをご記入ください。

- 農協ラーメン (1袋2食入り)
- 農協のトマトカレー (1袋1食入り)



※今月から2種類に変更となっております

クイズ&投稿は、郵送またはFAX、メール、ホームページのメールフォームで受け付けております。

あて先

〒041-1201 北斗市本町1丁目1番21号
JA新はこだて企画室 FAX:0138-77-5566
E-mailアドレス akinori.nakata@ja-shinhakodate.com

↓応募用紙はこちら(切り取ってハガキにそのまま貼ってね。)
応募締め切り 7月21日(金)(当日消印有効)
※下記応募用紙には必ず全て記入して下さい。※コメントのないものは無効とさせていただきます。

こたえ

ご希望のプレゼント ※下記のいずれか1つに○を付けて下さい
農協ラーメン・農協トマトカレー

住所 〒 -

氏名 年齢 TEL

ペンネーム 才 - -

組合区分 正組員・准組員・その他 ※○を付けて下さい

コメント ※広報誌へのご感想やご意見、ご要望、身近なできごとなどについて教えてください。

今月号の当選者 今月は7件の応募があり、厳正な抽選の結果、次の3名の方が当選となりました。

クイズ当選者

前回の答え
フライヤーズ

八雲町 マツコさん
函館市 カオちゃんさん
北斗市 おていちゃんさん

読者の声 たくさんのご応募、ありがとうございます。

- 八雲町 マツコさん
特集の地産地消イベントの紹介、活気があってよかった。
- 八雲町 ヒデポーさん
これからも色々なキャンペーンをどしどし企画していただきたいと思っております。
- 函館市 カオちゃんさん
読みやすくできていると思います。
- せたな町 クリリンさん
管内各地のトピックスが楽しみです。森の桜まつりに出かけました。何回見ても美しい!
- 八雲町 カズヤさん
えすぼわ〜毎月楽しみにしています。
- 北斗市 おていちゃんさん
フライヤーズ優勝子供達の頑張る姿ステキです。農家のおじいちゃん、おばあちゃんも頑張るぞ
- 厚沢部町 ソラパパさん
運動会は白組が負けてくやしかった!! By小4ソラ

理事会開催報告

第6回理事会議案(論議)

●日時/平成29年6月22日(木)11時00分
●場所/北斗市農業振興センター

議案

- 会長の選任について
- 代表理事の選任について
- 代表理事組合長、代表理事専務の選任について
- 役員報酬配分の変更について

第7回理事会議案(定例)

●日時/平成29年6月22日(木)第6回理事会終了後
●場所/北斗市農業振興センター

報告事項

- 第1四半期定期監査結果について
- 第1四半期内部監査結果について
- 金融機関貸付の進捗状況について
- 組合員の異動について
- 委員会の開催報告について
- 第1四半期のリスク管理方針に基づく総体的なリスク管理について
- 内部管理体制に係る指導要綱「JAバンク基本方針に基づく」及び「財務モニタリング報告」について
- 平成30年度女性参与選任に関する取り組みについて
- 平成29年度日本農業新聞普及推進について
- 平成28年度収入減少影響緩和対策交付金(ナラシ)の交付額について
- 厚沢部支店旧種子馬鈴薯倉庫低温化工事の入札結果について
- 平成29年度産米の出荷契約状況について
- 宮農販売・経済委員会の委員長・副委員長の選任について

議案

- 理事への貸付について
- 第1四半期定期監査に対する回答について
- 平成29年度農業基盤整備促進事業並びに農地耕作条件改善事業の取進めについて
- 厚沢部支店上ノ国野菜集出荷施設冷蔵施設入替工事の取進めについて
- 平成29年度コンプライアンス・プログラムの設定について
- 上期決算の実施について
- 平成30年度役員選任に関する取り組みについて
- 非常勤理事の職務代行順位について
- 非常勤理事引継に伴う立会人の選任について

JA新はこだて

夏の貯金キャンペーン

期間 平成29年6月1日木 平成29年8月31日木

対象 定期貯金新規お預入れ及び増額書替(ともに20万円以上)のお客様

1年定期 3年定期 5年定期

0.10% 0.11% 0.12%

税引後0.079% 税引後0.087% 税引後0.095%

更に窓口にて年金の新規お受取り(指定替含む)を同時に手続きで上記金利に0.05%を上乗せ!!

第23回道南農業試験場公開デー

農業試験場ではなにをしているの、いつも食べているお米や野菜はどうやって大きくなるの? と思っている方、子供から大人までみんなで来場ください。研究していることや使っている施設を紹介します。また、試験田畑の見学や試食コーナー、体験コーナーなどもあります。

- 日時: 8月9日(水)、午後1時～午後4時
- 場所: 道南農業試験場 (北斗市本町680番地)
- その他: 家庭菜園などでお困りの方、栽培技術相談(水稲、畑作、野菜など)や病害虫診断をご利用ください(現物をご持参下さい)

(問) 道南農業試験場 Tel0138-77-8116



料理楽しく ステップアップ



「キッチン晴人」のオーナーシェフ
永井 智一 (ながい ともかず)
「キッチン晴人」のオーナーシェフ。
1975年茨城県水戸市生まれ。高校卒業後、都内のすし店で修業後、帰郷し懐石料理を学ぶ。2013年12月に畑とつながるをコンセプトとした「キッチン晴人」をオープンし、地元農産物を生かした料理を提供中!

トマトたこ酢

作り方

- (1) 合わせ酢の材料を鍋に入れ、沸騰させて冷まし、湯むきしたトマトを一晩漬けておく。
- (2) 水で戻した白キクラゲ、ざく切りにした生ワカメ、一口大に切った蒸したタコ足を器に盛り付ける。
- (3) 合わせ酢から出したトマトを4等分に切り分け、合わせ酢を器に流し入れる。
- (4) 上におろししょうがを載せ、オリーブ油を掛けて出来上がり。



point

ワカメの代わりに、モズク・めがぶなどを使ってもOK!
彩りにチャービルを載せました。
盛り付け例はそれぞれの器にタコの足先を使っています。

材 料(4人分)

トマト	1個
蒸したタコ足	1本
生ワカメ	40g
白キクラゲ	20g
おろししょうが	適宜
オリーブ油	適宜
合わせ調味料	
かつおだし	180ml
薄口しょうゆ	30ml
みりん	30ml
米酢	75ml
砂糖	大さじ1・1/2

編集後記

先日、がん闘病中のフリーアナウンサー小林麻央さんが34歳の若さで亡くなりました。闘病中の様子のブログを見て、勇気をもたらした方もたくさんいたのではないかと思います。麻央さんの場合、早くに病院を受診したにも拘らず、がんの発見が遅れ、発見時にはかなり進行していたそうです。農業はカラダが資本です。年に1回は健康診断を受診し、日頃から健康に留意していただきたいと思います。ご冥福をお祈り致します。

(明)

facebookページ更新中!

随時、最新情報を更新していますので、ぜひチェックしてみてください。

JA新はこだて facebook 検索

まるめ郎アルバム



黒竹が天井高くまで伸びていました! まだまだ伸びたらどうなるのかな(汗)

緊急時のご連絡先

※業務時間内
(平日9時~17時)には
ご契約の支店に
ご連絡ください。



お車の事故・トラブル
☎0120-258-931
(JA共済事故受付センター)

お車のレッカー・ロードサービス
☎0120-063-931
(JA共済サポートセンター)



キャッシュカードや通帳の紛失・盗難
☎0120-944-904
(JAバンクキャッシュカード紛失共同受付センター)

JAクレジットカードの紛失・盗難
☎0120-159-674
(三菱UFJニコス株式会社盗難紛失受付センター)

※JAカード一体型の盗難・紛失においては、両方にご連絡ください。